



# いやさか通信

(※「いやさか」とは、「<sup>さか</sup>栄える」という意味を持つ「<sup>いやさか</sup>弥栄」を平仮名で表記したものです)

弥栄町の人口	年齢	R4.5末(前月比)
	0歳～14歳	482人(-1)
	15歳～64歳	2,304人(-2)
	65歳～	1,867人(±0)
	合計	4,653人(-3)

あおぞらフリーマーケット

5月15日、和田野区内で、地域の交流や不用品のリサイクルを目的にフリーマーケットが開催されました。

会場では衣類や食器、古本の他、手芸品や野菜等、22店のブースが並び、300人を超える来場者で賑わいました。ミニカー等の自分のおもちゃを出品する子どものブースでは、「いらっしやいー!」、「これください!」と、和やかな雰囲気の中で交流が行われていました。

来場者や出店者は「もつと時間を延長してほしい」「他地域からも来てもらえるように宣伝に力を入れよう」と話されました。



フリーマーケットの様子

歴史と地域を繋ぐ古代米田植え祭



「真っ直ぐ植えるのが難しい!」

5月22日、芋野区内で3年ぶりに古代米の田植え祭が行われました。

主催の芋野郷赤米保存会では、古代米の継承を目的に、田植えや収穫、米粉を使った商品開発を行っており、今年で10年目の活動となります。

当日は晴天の下、地域住民や子ども達が泥だらけになりながら汗を流し、10種類の苗を植えました。

田植えの後は、昨年収穫した古代米を使ったおにぎりやポン菓子、すいとんが振る舞われました。

保存会代表の藤村さんは



田植えの後に振る舞われた古代米料理

「地域の人口が減っていく中、こういった活動を続けることが難しくなってきた。今回の田植え祭には、今年4月に吉澤区、芋野区、堤区の3地区で設立した「いやさか吉野地域づくり協議会」に協力してもらい、他地域の皆さんにも参加を呼びかけた。これからは地域同士で協力し合いながら、伝統行事の継承や地域の困りごとを解決していきたい」と話されていました。

古代米の栽培は、弥栄こども園、吉野小学校、弥栄小学校でも、毎年行われています。

令和4年度 京丹後市消防団 弥栄方面隊幹部のみなさんをご紹介します。

弥栄方面隊長	吉崎 伸治さん	分団 (管轄地区)	分団長	副分団長
弥栄副方面隊長	富田 貴彦さん	第1分団 (吉澤・芋野・堤)	西原 謙次さん	室田 恵三さん
		第2分団 (溝谷・外村・等楽寺)	岩井 俊貴さん	森戸 俊文さん
		第3分団 (黒部・井辺・船木・国久・小田・野間地区)	梅田 彰さん	堀江 達哉さん
		第4分団 (鳥取・木橋・和田野)	吉岡 光男さん	森岡 秀康さん

いやさか通信のバックナンバーはこちら→